

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年12月23日

計画の名称	10 元気で安全・安心な兵庫の道づくり（連続立体交差事業等関連）			重点計画の該当	○
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付団体	兵庫県		
計画の目標					

連続立体交差事業によって、踏切による交通遮断を解消し、適正な道路ネットワークを形成することによる都市内交通の円滑化を図るとともに、市街地の一体化を促進することにより都市再生を図り、都市の魅力と活力を創出する。

計画の成果目標（定量的指標）	①鉄道と道路が立体交差化することによる踏切遮断交通量（自動車）の削減 ②鉄道と道路が立体交差化することによる踏切遮断交通量（歩行者+軽車両）の削減				
----------------	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)									
①事業区間内にある踏切の踏切遮断交通量（自動車）を削減する 事業区間内にある踏切の踏切遮断交通量（自動車）を平成25年と比較して10割削減する												
踏切遮断交通量（自動車） 平成25年 約279,651台時 → 平成29年 0台時	279,651台時	105,252台時	0台時									
②事業区間内にある踏切の踏切遮断交通量（歩行者+軽車両）を削減する 事業区間内にある踏切の踏切遮断交通量（歩行者+軽車両）を平成25年と比較して10割削減する												
踏切遮断交通量（歩行者+軽車両） 平成25年 約248,400人台時 → 平成29年 0人台時	248,400人台時	101,382人台時	0人台時									
全体事業費	合計 (A+B+C)	16,215 百万円	A	16,215 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
1-A1-1019	街路	一般	兵庫県	直接		S街路	改築	阪神本線連続立体交差事業（鳴尾駅付近）	連続立体交差 L=1.9km	西宮市						6,977	
1-A1-1021	街路	一般	兵庫県	直接		S街路	改築	山陽電鉄本線連続立体交差事業（西新町駅付近）	連続立体交差 L=1.9km	明石市						9,238	
合計															16,215		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期												
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期						令和2年12月
兵庫県県土整備部で評価						公表の方法						ホームページ

○事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ・阪神本線連続立体交差事業（鳴尾駅付近）により、踏切除却による渋滞解消や幹線道路の交通容量拡大など、円滑な道路交通が確保された。
- ・山陽電鉄本線連続立体交差事業（西新町駅付近）により、踏切除却による渋滞解消や幹線道路の交通容量拡大など、円滑な道路交通が確保された。

II 定量的指標の発現状況	指標①鉄道と道路が立体交差化することによる踏切遮断交通量（自動車）の削減	最終目標値	0台時	目標値と実績値に差が出た要因	(目標達成)
		最終実績値	0台時		
II 定量的指標の発現状況	指標②鉄道と道路が立体交差化することによる踏切遮断交通量（歩行者+軽車両）の削減	最終目標値	0人台時	目標値と実績値に差が出た要因	(目標達成)
		最終実績値	0人台時		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

高架下の利活用や地域の分断解消により、まちづくりの発展に寄与した。

○特記事項（今後の方針等）